

# 平成30年度 学力向上プラン

深谷市立幡羅小学校

R  
分析

## 全国学力・学習状況調査より

- ・国語は書くことに課題があり、選択式や記述式の問題で無解答率が高かった。
- ・算数は図形や数と計算についての「数学的な考え方」に課題があり、記述式の問題で無解答率が高かった。
- ・理科は「より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述する」問題の正答率が低かった。

## 埼玉県学力・学習状況調査より

- ・4年生：国語の学力レベルは県と同等であるが、算数の学力レベルは県を下回った。
- ・5年生：国語、算数の学力レベルは県を上回った。下位層の児童の伸びが大きい。
- ・6年生：国語の学力レベルは県を下回り、算数の学力レベルは県と同等である。上位層や下位層の児童の伸びが大きい。

## NRT・NINOより

- ・かけ算、わり算の正答率が低い。



G  
ゴール

## 【平成34年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて全国平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRTで偏差値50を上回る。

## 【来年度に向けての数値目標】

	国 語			算 数		
	今年度 学力	学力の伸 び	学力の伸びの 目標	今年度 学力	学力の伸び	学力の伸びの 目標
4年	6-B		3	5-B		3
県	6-C			5-B		
5年	7-C	4	5	6-A	5	5
県	6-A	2		6-C	2	
6年	7-C	2	3	6-A	2	3
県	7-B	2		6-A	2	

【次年度に向けての重点計画】

- ・幡羅小授業スタンダードに沿った授業を行い、活用問題や評価問題に取り組む。
- ・ドリルタイムの中でコラム学習に取り組み、自分の考えを書くなどの練習を積む。
- ・宿題や読書は必ず全員に取り組ませる。
- ・一人一人を大切にしたい、個に応じた指導を行う。

<b>8月</b>	校内研修（本校の課題の共通理解・全教職員で全学調問題確認）			
<b>9月</b>	学力向上旬間 コラム学習 個に応じた算数学習 給食準備中の補充学習	ドリルタイム コラム バトン 問題集・復習 シート 取組	幡羅小授業スタンダードに沿った授業の実施	B問題を意識した授業の実施
<b>10月</b>	補充学習実施（火曜日6校時）（4・5・6年生）			
<b>11月</b>	学力向上旬間 コラム学習 個に応じた算数学習 給食準備中の補充学習 B問題プレチャレンジの実施			
	補充学習実施（火曜日6校時）（4・5・6年生）			
<b>12月</b>	補充学習実施（火曜日6校時）（4・5・6年生）			
	全国学調対策 過去問を解く①			
	補充学習実施（冬期）（5・6年生）			
<b>1月</b>	B問題プレチャレンジ実施（5年生）			
	全国学調対策 過去問を解く②			
	学力向上旬間 コラム学習 実態に応じた算数学習 給食準備中の補充学習			
<b>2月</b>	補充学習実施（火曜日6校時）（4・5・6年生）			
<b>3月</b>	全国学調対策 過去問を解く③			
	B問題プレチャレンジ実施（5年生）			